

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後リリークラブ 鳩ヶ谷		
○保護者評価実施期間	2025年12月12日		～ 2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年12月12日		～ 2026年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な年齢の子どもと関わりを持つことができる	子ども達の様子に合わせて部屋分けや人数、活動時間を調整している 児童からのリクエストを取り入れ活動の充実化を図っている	子どもの様子を見ながら部屋割りを工夫し、様々な年齢の児童と活動や自由時間を通して関わる事が出来るようにしていく
2	子ども達の日々の様子などについて保護者と情報共有ができています	送迎時に保護者と直接お話をしたり、サービス提供表で事業所での様子を伝えたりしている	保護者の方が安心して相談できるように、日ごろから丁寧なやりとりを行っていききたい
3	児童発達支援と放課後デイサービスとを運営しているので、一人の子どもに対して長期間関わる事ができる	就学前から細やかな関わりを持つことができ、就学時に必要な準備も利用児のペースに合わせて行うことができる	子どもの環境が大きく変わる入学時期には、無理なく小学校生活に適應できるように子どもと保護者に寄り添っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の人との交流や地域行事への参加ができていない	イベントにて外部に出かけた際に、地域の方と外部の施設内で一緒にいることなどがあるが行事参加はできていない	ご家庭の要望なども踏まえつつ、利用時間の調整や交流方法の工夫で機会を設けることを検討していく
2	保護者同士の交流機会を設けることができていない	保護者からのご相談についてはその都度個別に対応し、個別解決を行ってきたケースが多く、保護者同士が情報や思いを共有する機会を設けるまでに至っていない	保護者のニーズを大切にしながら、年齢や発達段階に応じたテーマ設定による交流の機会を作ることを検討していきたい
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後リリークラブ 鳩ヶ谷

公表日 2026年3月15日

利用児童数

21

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	85%	5%	0%	10%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	90%	5%	0%	5%		
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	70%	20%	0%	10%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	80%	10%	0%	10%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	・子どもは自分のことをよく理解してくれているという自覚があるようです	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析	95%	5%	0%	0%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか	95%	5%	0%	0%		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	35%	5%	10%	50%	・学校で交流があるので特に必要ないと思います	・地域の他の子どもと活動する機会を設けることを検討していきたい
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	90%	5%	0%	5%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30%	15%	15%	40%	・ペアトレは行っていません	日常の送迎時や定期的なモニタリングの機会を活用し、家庭での様子や困り事について共有、助言を行うなどしていきます
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	95%	5%	0%	0%	・様子がわかるのが嬉しいです	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95%	0%	0%	5%	・いつも助かっています	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%	・いつも助かっています	・子どもや保護者に寄り添う気持ちを大切にしていきます

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25%	5%	25%	45%	・保護者会はありませんでした	交流できる方法などを検討していきたい
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85%	10%	5%	0%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	80%	5%	5%	10%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	85%	10%	0%	5%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	90%	5%	0%	5%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	85%	5%	0%	10%	・怪我等無いですので分かりません	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	95%	5%	0%	0%	・のびのびとしています 第2の家のようです	・今後も安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	85%	15%	0%	0%	・とっても楽しみにしています 祝日も家にいるより通所したいようです	・子ども達が楽しく過ごすことができるように活動の充実化を図っていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	90%	10%	0%	0%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後リリークラブ 鳩ヶ谷		公表日		2026年3月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・人数に応じて部屋分けを行っている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・階段は手すりや滑り止めなど施している。 ・一日のスケジュールや送迎車など視覚的にわかるようにしている。	・適宜設備点検を行っていく。階段の滑り止め等を必要に応じて交換する ・今後も怪我の無いように、階段の昇降では職員が付きそう	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日掃除を行っている	・こども達が安心して過ごせる空間となるように気を配っていく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・襖をいれて部屋をしきることができる・相談室を使えるようにしたり、襖で部屋を分けたりしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・月ごとに自己評価を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・年に一度行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・会議や普段の会話、LINEでの発信等で行っている	・職員皆で互いに意見をやりとりして、業務改善につながるようにしていく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		・今後検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・研修や資格の案内があれば欲しい・定期的に研修を行っている		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・月ごとの会議や適宜聞き取りを行っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・サービス提供記録のバインダーに共有し、日常的に確認できるようにしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・発達検査等の結果や、保護者からの聞き取り、日々の行動観察を踏まえてアセスメントを行っている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・本人支援、家族支援、5領域を含む内容で設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・職員で毎月活動案を考えている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・活動が同じにならないよう、毎月組み立てている。児童のリクエストなど取り入れている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・個別支援と集団活動がランダムにプログラムへ組み込まれている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・出勤時間や送迎の関係で難しい所がある	・前日までの打合せやLINEでの打合せなどで連携を図っていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	71%	29%	各々の出勤時間が違う為、LINEグループにて全体にその日の共有を行っている。日誌に記入し共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・毎日、業務日誌を記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年に一度、モニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・活動中、自由時間など自己決定する場面を作っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・送迎時に聞き取りを行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	43%	57%		・引き続き、赤山店との間で情報共有を行っていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	43%	57%		・障害福祉サービス事業所等へ移行する児童はいないが、今後移行する児童がいるときは適切な対応をする
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%		・事業所連絡会の場で助言や研修を受けていくようにする
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	14%	86%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	29%	71%		・引き続き、連絡会へ参加していくようにする
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・送迎時や提供表を通し、その日の様子を伝えている	・保護者から伝えられたこどもの情報は、職員皆で共有しその日の対応に役立てるようにしていく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	43%	57%	・機会を用意できるならやってみたい	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時、細かく説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・送迎時や電話で話し対応している	・家族が安心して相談できるように、信頼関係を築いていく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14%	86%	・やってみたい	・今後検討していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・保護者からの発信内容は即時職員で共有している	・苦情は放置することなく、迅速かつ適切な対応をしていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・個人情報は鍵付きの書庫に保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14%	86%		・今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・消火訓練、避難訓練など行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・災害時セットを用意し、定期的に訓練も実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	・契約時に確認を取っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・一覧表にして対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハット作成後、全体で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・委員会で適宜研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%			